

**“Begin with the End in Mind” 咬合によるリスクを予測する**

咬合/Occlusionという非常に複雑で難しいと考えがちである。しかしながら、日常臨床では常に意識すべきもので、それを敬遠して治療することはできない。また咬合という全顎的な治療を連想するかもしれないが、例え一歯の治療であっても予後を左右することが少なくない。したがって、治療を始める前に咬合に関するリスクを評価、分析した上で、現状のまま治療を進めるべきなのか否かを分析することは非常に重要である。本講演では、1. リスク評価 2. 咬合分析 3. 歯のウェアについて述べる。

石部元朗